

平成29年度「若手教員等研究支援費（若手教員等支援枠）」研究成果報告書

研究課題	他教科の学習内容との関連性を踏まえた小学校家庭科住居領域の体験的教材の分析		
氏名	萬羽 郁子	所属	総合教育科学系 生活科学分野
		職名	講師
CITI Japan 研究倫理 e-ラーニングプログラムの受講 <input checked="" type="checkbox"/> ←受講済の場合はチェックをすること			
<p><b>【研究成果の概要】</b> （文字の大きさ9ポイント・字数800字～1600字程度）</p> <p>現在、情報化やグローバル化といった複雑で変化の激しい社会の中で、新しい時代を切り拓いていくために必要な資質・能力を育むための教育モデルの開発が求められており、学習過程の質的改善のため主対的・対話的で深い学びの充実が課題となっている。深い学びの実現のためには、各教科等の「見方・考え方」がどういったものかを改めて明らかにし、それを軸とした授業改善の取り組みを活性化していくことが求められている。また、各教科等の学習とともに教科等横断的な視点に立った学習が重要であり、教科等間のつながりを捉えた学習を進める必要がある。そのため、学校教育全体の姿を念頭に置き、教科等の内容について「カリキュラム・マネジメント」を通じて相互の関連付けや横断を図っていくことが求められている。</p> <p>本研究では、小学校家庭科住居領域における「季節の変化に合わせた住まい方」について、学習指導要領および教科書分析によって、他教科との関連内容を整理した。また、本題材を取り扱った授業実践記録から、他教科との関連性について分析した。</p> <p>学習指導要領解説の分析より、小学校家庭科編の住生活領域では、理科、体育科との関連性を図るように配慮するように、と記述されていた。多くの教科で他教科との関連性について触れられていたが、具体的に家庭科との関連性が記述されていたのは体育科のみであった。また、小学校家庭科教科書2冊の住生活領域に関連するページを分析したところ、理科、社会科、体育科と関連する内容や単元名が記載されていたが、他教科の教科書で家庭科との関連性が記述されていたのは体育科1冊のみで、衣生活領域の内容（下着やハンカチの手入れについて）であった。理科や体育科の教科書には、家庭科住生活領域で扱う暑さ・寒さ、通風・換気、採光と関連性の高い内容や、生活と結び付けた事例が複数取り上げられていたが、教科による見方の違いもみられた。</p> <p>また、小学校家庭科住居領域の「季節の変化に合わせた住まい方」を題材とした授業実践記録の分析を行った。授業実践は2017年12～2月に、K小学校で5年生と6年生を対象に行われた。題材名を「寒い季節を快適に」とし、寒い季節をどのように快適に過ごすかについて、衣服の着方、暖房時の換気、日光の活用（暖かさや明るさ）などの観点から学習した。本題材では、模型を使った実験や教室や廊下での測定など、体験的学習を多く取り入れ、児童が実感を持って理解し、思考を深めていけるよう工夫した。本研究では、この授業実践の中から、『暖房器具の適切な使い方を考えよう』『日光を利用しよう』について学習した2時間続きの授業について、授業ビデオと発話トランスクリプトの分析を行った。</p> <p>『暖房器具の適切な使い方を考えよう』では、段ボールで制作した教室模型を各班に1つずつ配布し、模型の中でお香を燃焼させた。模型には、5つの小さな窓があり、どの窓を開ければ煙が外に出てきて換気が行われやすいかについて、考えさせた。児童は、窓の開け方の組合せを話し合った後、模型の窓を実際に開けて煙が出てくる様子を観察し、適切な方法を考えた。児童は、いくつかのパターンで窓を開けて煙の出方を比較し、窓を1つ開けるときには上の窓から煙が多く出てくること、窓を2つ開けるときには上の窓から煙が出てくるが下の窓からは煙が出ていないこと、下の窓が新鮮空気の入り口となっていることを体験的に理解していった。班の中での話し合いでは、理科で学習した対流の原理と結び付けて考察するなど、理科で学習した知識を生活と結び付けながら問題を解決する様子がみられた。この様に、教材や授業の手立ての工夫により、授業の様々な場面で他教科との関連付けを図ることは可能となる。家庭科では、他教科との関連性を意識した授業展開によって、他教科で学習した科学的な根拠や、社会的な背景に基づいて、課題解決する力を育みたい。</p>			
<p><b>【研究成果発表方法】</b></p> <p>1) 萬羽郁子，藤田智子，大竹美登利：小学校家庭科において育成される資質・能力の分析—住生活領域の換気に関する授業実践を通して—，日本家庭科教育学会第60回大会／2017年例会，口頭発表，2017</p> <p>2) 萬羽郁子，藤田智子，藤澤圭，大竹美登利：小学生の寒い季節の住まい方に関する実態調査と授業による変化，東京学芸大学紀要 総合教育科学系，69（2），353-361，2018</p>			

※発表論文名（口頭発表を含む）、氏名、学会誌等名（投稿中・投稿予定・執筆中）を記入すること。

※本経費を用いて、報告書（冊子等）を作成した場合には、本様式とともに1部を提出すること。

なお、提出された報告書は教育実践研究推進本部を通じて附属図書館へ寄贈する。